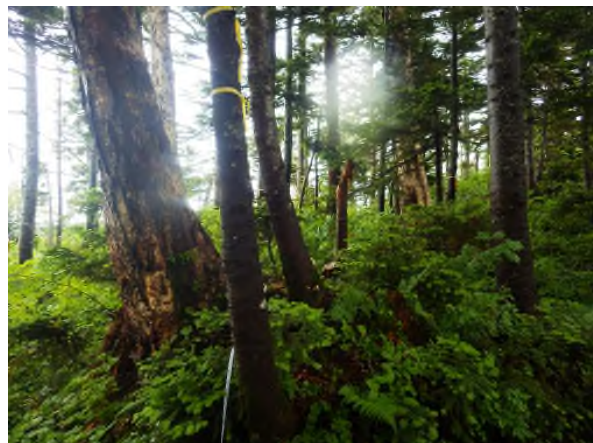


苗場山湿原生物群集保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・北信森林管理署
所在地	長野県下水内郡栄村
面積	1,327.14ha
設定年	平成29年4月1日
保護林の概要 設定目的)	苗場山の西、南斜面の一帯には、我が国でも有数の規模の高層湿原、雪田植生、高山草原等がある。また、大岩山は、東西及び南北に伸びる尾根筋に、安山岩の方状節理が発達し、切り立った断崖状の特異な景観を呈するとともに、広大な苗場山湿原の突端部となっている。これらの生物群集を有する森林の保護・管理を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和元年度
調査項目	樹木・林床植生の生育状況調査、高山植生調査
調査手法	オオシラビソを中心とした群落に設定された調査プロットにおいて、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。高山植生帯に調査プロットを設定し、植生の種組成の概要を把握。
結果概要	尾根上の調査プロットで季節風の影響と推定されるオオシラビソの立ち枯れが確認されたが、その他の調査プロットでは大きな変化は確認されず、湿性植物の生育状況にも変化が見られなかったことから、保護林の健全性は維持されていると判断された。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。